

2022 年度業務実績報告書

提出日 2023 年 1 月 19 日

1. 職名・氏名 教授・桑原美香2. 学位 学位 博士、専門分野 経済学、授与機関 広島大学、授与年 2003 年

3. 教育活動

(1) 講義・演習・実験・実習
① 財政学(4 単位) 2 年次以上担当
② 内容・ねらい <p>財政の 3 つの機能について理解したうえで、各論として地方財政、租税、社会保障、国債についても盛り込んだ。</p> <p>また、新政権のもとで行われる経済・財政運営に関して概要を理解するとともに、海外の経済政策との比較の中で、財源確保や日本独自の課題などについても自分なりの意見がもてるようにすることをねらいとした。</p>
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 <p>忘却曲線を念頭におき、学習効果を高めるような復習の時間設定を考慮した講義設計とした。</p> <p>①各講義を 2~3 日ずつ空けて行い、各講義の前半に前回のまとめを行うこと、②1 テーマを 3 講義(現状、理論、課題と今後の政策)に分けて進め、各テーマ終了時に全体を通したまとめをすること、③受講生には講義事前に教科書を読ませ、自身でレジュメを作成して提出させることで、講義当日を復習の場とする「反転授業」を導入すること、を心掛けた。</p> <p>また、海外受講生のためにハイブリッド講義を行う一方で、対面学生用には VTR 等を多用することで、昭和時代の状況を体感したり、近年の海外研究者の考えについて触れられたりするよう工夫した。</p>
① 外書講読(2 単位) 3 年次以上担当
② 内容・ねらい <p>海外で起こっている事象について英語で理解することに重点を置いた。具体的には、単なるニュースとしての知識ではなく、事象が起こった背景にどのような地理的、歴史的、民族/宗教的な観点があるのか、日本で日本のニュースを見ていては読み取れない部分を理解することをねらいとした。</p>
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 <p>大きなテーマを 3 つ設け、テーマごとに 1) リスニング、2) 背景理解とリーディング、3) ライティングを学べる回となるよう設計した。今年度のテーマは、エネルギー問題と物価上昇、ロシアによるウクライナ侵攻、日本の金融政策とした。リスニングの回では、BBC や DW News、France 24 など、中立な情報を提供するテレビ局の公式 YouTube などを教材に用いた。背景理解の回では、対立や紛争について地政学的視点から捉えられるよう、地理、経済、歴史、政治などの復習を丁寧に行った。リーディングでは、Financial Times をはじめとする新聞、雑誌の記事等を教材として用い、経済学用語等は併せて日経新聞等も用いた。ライティングの回では、「英語脳」で文章を考えるよう、日本語で簡潔に説明することから始めた。中間試験では、日本語→英語、英語→日本語の翻訳であったが、最終課題は数ページにわたる新聞記事を 200 words に要約するサマリーとした。</p> <p>また、EU 諸国でのエネルギー問題等に対して臨場感を持って理解するため、海外とオンラインで結び、ゲストスピーカーからお話を伺った(JETRO ブダペスト所長 末廣徹 様/テーマ: EU のエネルギー事情と国際課税ルール)。金融政策の回では、映画 Money Short を教材に用いて、英語で金融用語を学べるよう工夫した。</p>
【ゲストスピーカー 1 名】

① 財政学特論・大学院 (2単位) M1, M2 年次担当

② 内容・ねらい

公共施設の維持補修と管理運営に焦点を絞り、財政の面から課題と今後の政策について整理した。実際の自治体での取り組みを扱うとともに、その理論的背景を学ぶことで一般化できるようになることをねらいとした。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

教科書に準拠しながら、できるだけ新しい実例を交えながら講義を行った。受講生が海外出身であったため、日本での一般的な政策と先進自治体の実例とを比較しながら進めた。また講義後半では、受講生が要約、発表することに時間を割り適宜補足することで、自発的な学びとなるような仕掛けも取り入れた。福井県内の現地視察も企画していたが、感染者数の増加に伴い中止とした。

① 演習 I (4単位) 3年次担当

② 内容・ねらい

講義時間の前半は新聞を用いた時事問題についての議論、後半は指定図書の内容を輪読を行った。時事問題に関心を持つこと、簡潔にレジュメ化すること、整理したことを発表すること、人の意見に対して疑問を持ち質問、議論することを主眼においた。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

15回の講義の初段階は、論理的思考についての実践と、分析手法に関する合同勉強会(新宮ゼミ、廣瀬ゼミ)を行った。対面やオンラインでの講師招聘、他大学生とのワークショップ等に参加させたりすることで、インプットとアウトプットの循環とその手法を実践的に学ぶことができるよう工夫した。さらに、日本原子力産業協会主催のセミナー(11/1)にて杉山一弥フェローにご講演頂くとともに、北陸原子力懇談会セミナー(11/8)にて日本エネルギー研究所 木村謙人様よりご講演いただいた。さらに、それらの学びをアウトプットする場として、福井大学主催で、福井工業大学や福井南高校の生徒・学生とのワークショップ「高レベル放射性廃棄物の処分問題を考える in ふくい 2022」(1月)に参加させた。またゼミ時間とは別に、学内ゼミナール対抗コンテストでの報告のための分析の仕方やデータ収集に関して指導した。

なお今年度は、コロナ感染症拡大防止の観点から現地視察等は行わないこととした。

【ゲストスピーカー 2人】

【フィールドワーク等 1件】

① 演習 II (4単位) 4年次担当

各自、自身の興味ある内容に関して卒業論文を執筆することに時間を割いた。また、上記の講演会やセミナーにも参加させた。

② 内容・ねらい

卒業論文執筆のための指導を行った、課題抽出、仮説設定、検証、考察の一連の流れを自身で組み立てられるようになることが主なねらいであった。そのため、多様な情報を取捨選択して取り入れつつ、自身の考えを整理し、賛否を述べられるよう指導した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

講義の当初は、3年次の復習として分析手法に関する合同勉強会を行った。後半は卒業論文執筆のため、1名につき1時間の講義時間を設けた。これにより、仮説が明確な学生はデータ収集や分析に時間を割くことができ、テーマの絞り込みが難しい学生には、問答形式で概念を明確化・言語化できるよう工夫した。また、執筆した卒業論文を発表する場を設け、ゼミ内での発表会や、廣瀬ゼミ、藤野ゼミとの合同報告会を開催することで、プレゼンテーション資料の作り方や発表の仕方についても学べるよう指導した。また、適宜、3年次と合同でセミナーやワークショップに参加させた。

なお今年度は、コロナ感染症拡大防止の観点から視察・調査等は行わないこととした。

【ゲストスピーカー(同上) 2人】

【フィールドワーク等(同上) 1件】

5. 地域・社会貢献活動

- ①-1-1：総務省 地方行財政ビジョン研究会(2022年度～現在に至る)
- ①-1-2：北陸財務局 国有財産北陸地方審議会(2015年度～現在に至る)
- ①-1-3：北陸財務局 北陸地域連携プラットフォーム(2013年度～現在に至る)
- ①-1-4：北陸農政局 農村振興課関係補助金等交付先選定審査委員会(2011年度～現在に至る)
- ①-1-5：北陸農政局 地域別農業振興計画審査委員会(2022年度～現在に至る)
- ①-1-6：近畿地方整備局 足羽川ダム事業費等監理委員会(2014年度～現在に至る)
- ①-1-7：金沢国税局 土地評価審議会(2022年度～現在に至る)
- ①-1-8：福井労働局 福井地方労働審議会(2019年度～現在に至る)
- ①-1-9：福井労働局 公共調達監視委員会(2022年度～現在に至る)
- ①-2-1：福井県 固定資産評価審議会(2016年度～現在に至る)
- ①-2-2：福井県 優良工事等事業者表彰選考委員会(2015年度～現在に至る)
- ①-2-3：福井県 敦賀港地方港湾審議会(2021年～現在に至る)
- ①-2-4：福井県 社会教育委員会(2022年～現在に至る)
- ①-2-5：福井県 特定調達苦情検討委員会(2022年～現在に至る)
- ①-2-6：福井県 都市マスタープラン改訂専門部会(2022年～現在に至る)
- ①-3-1：福井市 公正入札調査等委員会(2007年度～現在に至る)
- ①-3-2：福井市 廃棄物減量等推進会議(2007年度～現在に至る)
- ①-3-3：福井市 市民協働推進委員会・委員長(2009年度～現在に至る)
- ①-3-4：福井市 美山デイサービスセンター和貴苑譲渡先事業者選定委員会・会長(2022年)
- ①-3-5：福井市 SSTらんど譲渡先事業者選定委員会・委員長(2022年)
- ①-3-6：福井市 納税推進懇話会・座長(2022年)
- ①-3-7：大野市 行政改革戦略会議・座長(2013年度～現在に至る)
- ①-3-8：大野市総合計画審議会・施策評価アドバイザー(2022年～)
- ①-3-9：あわら市 行政評価外部評価委員会・会長(2012年度～現在に至る)
- ①-3-10：敦賀市 新清掃センター整備・運営事業者選定委員会・副委員長(2021年～2022年)
- ①-3-11：敦賀市 教育委員会自己点検ヒアリング(2018年度～現在に至る)
- ①-3-12：敦賀市 武道館指定管理者選定委員会(2022年度)
- ①-3-13：坂井市 指定管理者選定委員会・委員長(2022年)
- ①-3-14：坂井市 総合戦略推進会議(2022年～現在に至る)

①-3-15：若狭町 公民連携推進協議会(2020年度～現在に至る)

①-3-16：永平寺町 都市計画審議会(2022年～現在に至る)

入試説明会：金津高等学校(オンライン 2022年7月13日) 2コマ

開放講座：金津高等学校(年間アドバイザー)

6. 大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

論集編集委員会(2021～現在に至る)

経済学部内 広報委員(2022年～)

緩やかな履修モデル(2021～現在に至る)

(3)学内行事への参加

入試関連業務等

(4)その他、自発的活動など